



# はなのき

神坂小学校だより No.9 2022.11.24



## 高める秋 広げる秋

校長 高橋 浩之

神坂小学校では、今年度1年を6つの期間に分け学校生活を送っています。その中でも秋は、生活や学習を高め、広げる大切な時期です。後期の始まりから文化祭までを1つの期間とし、生活や学習を「高める」時期としました。

後期の始めには、組織や役割を変えたり、生活や学習のめあてを改めて見つめ直したりしました。そして、学級としても様々な行事に対してめあてを決め、取組を行うというスタートをきりました。例えば、前期は大きな声で挨拶をすることが目標だった子は、後期は相手を意識して笑顔で挨拶することを意識するように努力しています。掃除では前期は時間一杯取り組むことを目標にしていた子は、後期は黙々とおしゃべりなしで最後までやりきることを課題にしています。学習では、自分の考えを発表することや友達の話最後まで静かに聞くことに取り組んできた子が、友達が聞いてくれているか確認しながら話すことや友達の発表にうなづくなど反応しながら聞くことを心がけています。



そんな一つ難しい目標にチャレンジして発表したのが文化祭でした。文化祭では、開始までの待つ姿勢、進行の子の話静かに聴く姿、移動の度にキビキビと動く姿など、日頃の生活や学習の積み重ねの姿がたくさん見られました。学年発表では、朝の会や朝の活動などを有効に活用して、少しずつ技能を高め、気持ちを込める話し方や歌い方を身に付けていきました。三味線発表では、業間休みや20分休みを活用して、教え合いを繰り返して、息を合わせられるように練習を重ねました。その成果として、心温まる文化祭となりました。努力することの大切さを学び、大勢の人たちの前で発表することで、自分の取組に自信をもち、自己肯定感を高めることができたと思います。

修学旅行を始め、社会科見学や外部講師による授業でもその頑張りが見られます。今年度から修学旅行は電車で京都や奈良に行きました。大勢の人が使う公共の乗り物を利用し、公共マナーを覚えました。京都ではグループごとにタクシー研修を行いました。事前の計画からグループで話し合いを重ね、当日は自分たちだけで京都の町を探索しました。マナーや時間を意識し、学びを深めていく姿は、大きな成長と自信につながったと思います。



自分たちで考え、動き、振り返る活動をこれからも大切に、自信をもって取り組み、互いの良さを広め合いたいと思います。

### 第8波など感染症に備えて

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ、そして寒暖差が大きい体調を崩す児童は少なくありません。学校生活の中、学習や活動を進めていくためにも、引き続き感染対策は必要と考えられます。まずは、体調に異変を感じたら、休養することが大前提です。ゆっくりと体を休めて、抵抗力を高めていくことが対策の基本であり、感染を広めないと思われれます。ご協力をお願いします。